

## 試験実施方法（野菜）

### 1. 試験条件

#### 1) ほ圃場条件

- ・風当たりが弱く、排水良好な、その地域の代表的なほ場を選ぶ。
- ・特殊な土壌条件の場所は避ける。

#### 2) 供試品種

- ・栽培試験では、その地域の代表的な品種を複数供試することが望ましい。
- ・品種試験では、標準品種（特性が安定した代表的品種で基準となる品種）、対照品種（検定品種・系統を普及するうえで目標となる品種）、参考品種（特性などの評価に参考となる品種）を準備する。
- ・標準品種は、年次、場所などが異なっても、共通させる。
- ・対照品種は、地域、作型によって異なることもある。

#### 3) 供試作型（作期）

- ・その地域の代表的な作型・作期での試験が望ましい。
- ・品種試験では、目的とする品種の特性が発揮できる作型・作期で実施する。

#### 4) 試験規模

- ・2～3反復程度とする。
- ・1区の個体数を減らしても、反復数を増やすことで試験の信頼度は高まる。
- ・反復内個体数<反復数<個所数<年数の順で試験誤差が小さくなる。
- ・比較的個体数を多くとれる作物は約100個体、3反復、2カ所、2年以上の試験が望ましい。
- ・メロンなど個体数を多くとれない作物は、5個体程度でも良いが、極力反復数、箇所数、年数を多くとるように工夫する。

#### 5) 栽培法

- ・その作物の標準耕種法による。
- ・特殊な栽培法をとった場合は、その内容を明記する。
- ・播種・育苗  
直播の場合は、栽植株数、欠株数の把握が困難な場合が多いため、間引き後の株数の確認を必ず行い、想定株数との差（間引き時点での欠株数）を記録しておく。  
移植する場合は、ペーパーポット育苗、トレイ育苗など、その内容を明記する。
- ・栽植様式・栽植密度  
標準の栽植様式、栽植密度とする。
- ・被覆資材などの利用  
作型に対応した資材を利用したときは、その内容と利用時期を明記する。
- ・肥料・土壌改良資材の施用、灌水など  
標準または慣行の施用法、施用量とする。  
灌水した場合は、灌水法、灌水量等を記録する。
- ・病虫害防除・雑草防除  
北海道農作物病虫害・雑草防除ガイドに従って防除を実施する。

やむを得ず防除ガイドに記載以外の防除を行った場合は、その旨を記述する。

## 2. 試験経過の記録

### 1) 気象経過

- アメダスデータ等を利用して、気温、日照時間、降水量などについて、平年との比較を行う。また、特記事項があれば記録する。
- 施設を利用する場合は、施設内の気温などを記録することが望ましい。

### 2) 生育経過

- 必要なデータを取りながら特記事項を記録する。

## 3. 収穫調査、生育調査等におけるサンプリング

### 1) 生育調査

- 草丈などの生育調査は、試験区の中で中庸な生育をしている所で行う。
- 生育の揃いなど試験区内の変異係数を求める場合は、別途試験区を設ける。
- 個体の調査では、障害個体を除くとともに、欠株や生育不良株の両隣からのサンプリングは避ける。

### 2) 収穫調査

- 試験区全体の収量調査が望ましい。
- やむを得ない場合は、坪刈りなど一定面積からのサンプリングをするが、通路側の2個体、2畦程度や試験区隣接畦を除外する。
- 収穫調査では、あらかじめ試験区内の栽植個体数を確認しておくこと、調査後の収量計算でのトラブル防止となる。

## 4. 調査要領

- ランク A : 必ず実施する。  
B : 必要に応じて実施する。

## 成績のとりまとめ様式

### 1. 試験目的

作型、作期などを明記する。

### 2. 試験方法

#### 1) 実施場所

市町村名、機関名、現地では農家名など。

#### 2) ほ場条件

土壌タイプ、土質、畑地・転換畑の種別、前作物など。

#### 3) 作型

露地、雨よけ、無加温、加温の区別、施設の種類など。

#### 4) 供試品種

品種試験では標準品種、対照品種、参考品種の明記。品種の入手先など。

#### 5) 処理区別

処理内容、処理方法など。

#### 6) 試験規模

1区面積、反復数など。

### 3. 耕種概要

#### 1) 播種期

期日、播種後の間引きの有無など。

#### 2) 移植期

育苗方法、仮植期、移植期など。

#### 3) 栽培管理

接ぎ木、摘心、摘蕾、摘果、整枝法など。

施設・資材の利用の場合：設定温度およびハウス内定位置の気温・地温の最高、最低温度など。

#### 4) 栽植密度

株間、畦間、条間、ベッド幅、aあたり栽植株数など

#### 5) 施肥

施肥時期、肥料名、aあたり要素量、有機資材、土壌改良材、追肥など。

#### 6) その他

灌水、保温管理、防除回数、除草剤、植物調節剤など。

### 4. 試験経過の概要

#### 1) 気象経過

気温、日照時間、降水量の平年との比較、特記すべき事項など。

#### 2) 生育経過

生育の概要、特記すべき障害など。